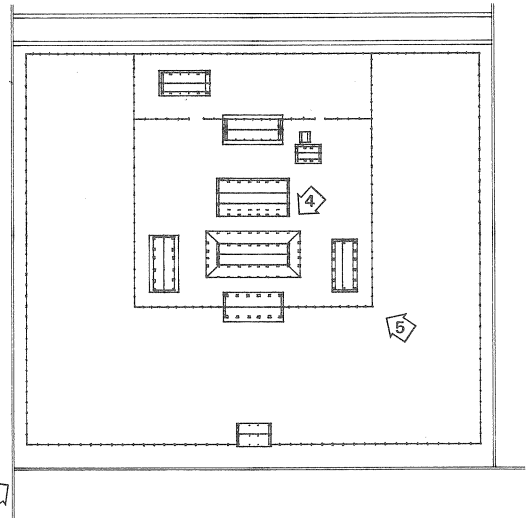
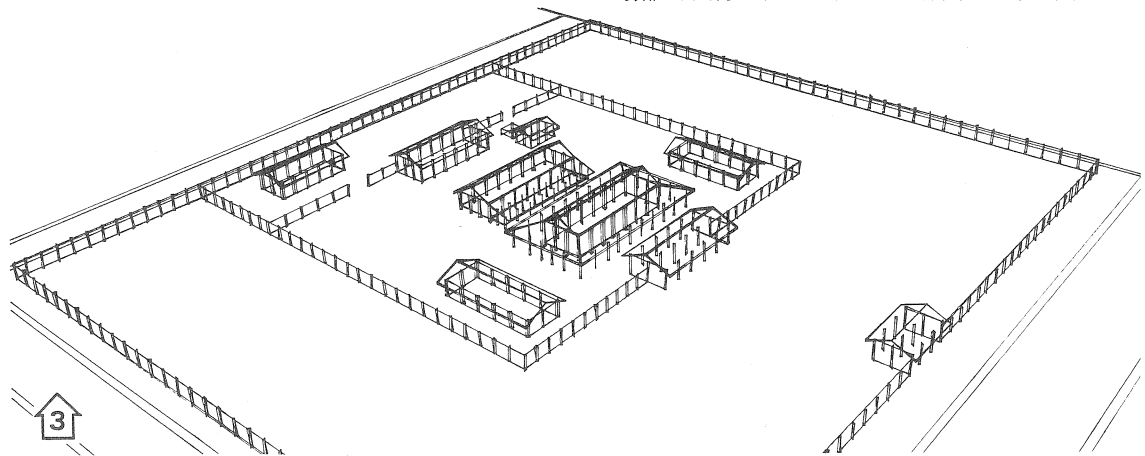


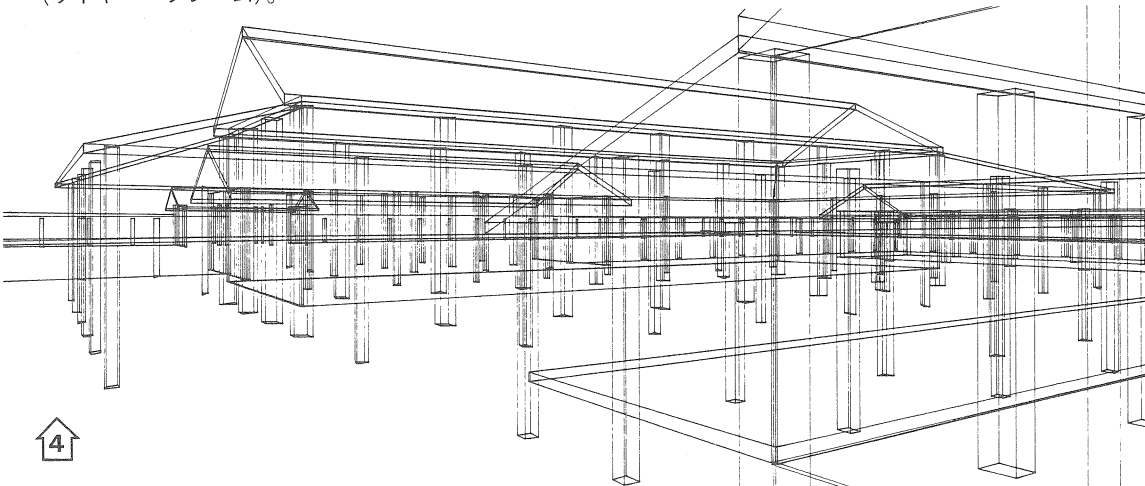
1 右京七条一坊西南坪の遺構平面図。



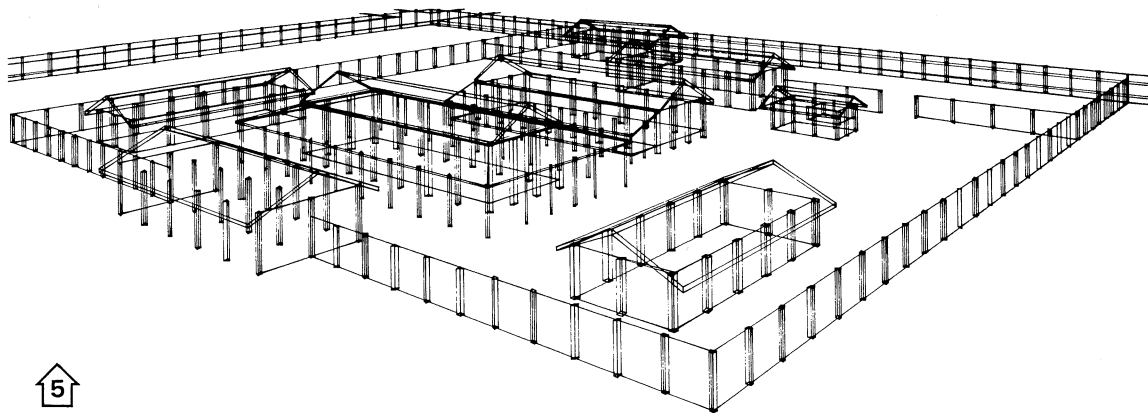
2 コンピューターに柱・壁・屋根等の3次元の座標数値を入力し、プロッターで作図した平面図。



3 数値を一旦入力すれば、あらゆる角度からの構図が可能。これは南西上空からみた西南坪全体の透視図(ワイヤー・フレーム)。

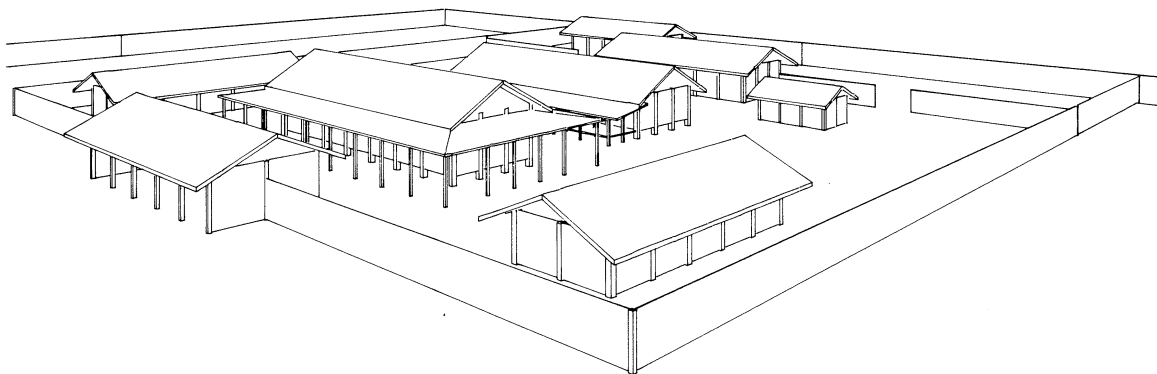


4 建物の中、あるいは地上に立つ人間の視角からの図も得られる。これは後殿の東から南西方向をみた透視図。

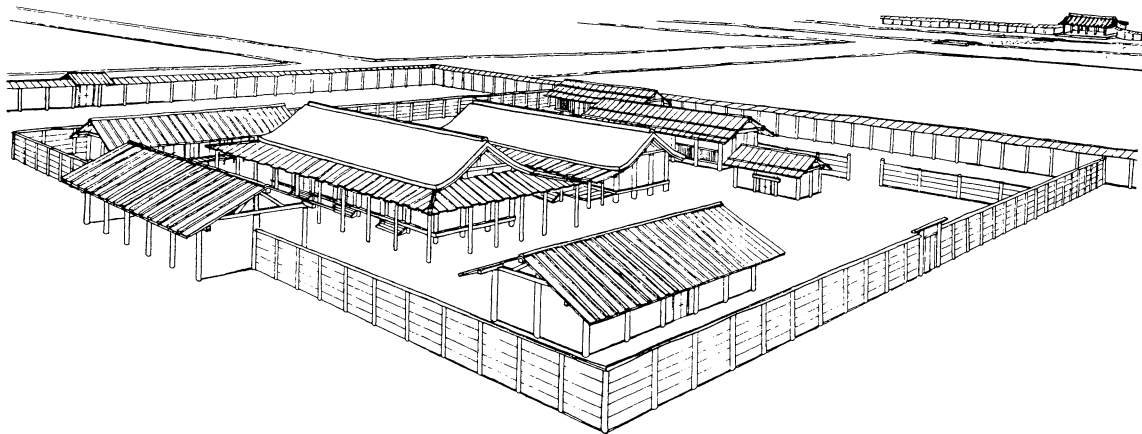


5

5 建物の配置や構造がもっともわかりやすい構図を選ぶ。これは東南からみた内郭の建物群の透視図。



6 上図とほぼ同じ角度からみた内郭建物群の陰面消去図。不用な線をコンピューターが消去してくれる。



7 柱や屋根、塀などの細部を建築史の知識に基づいて加筆修正した原図。これをもとに復原想像図を作成した。なお使用した機器は、16ビットコンピューター、建築パース作成ソフト、デジタイザー、XYプロッターである。